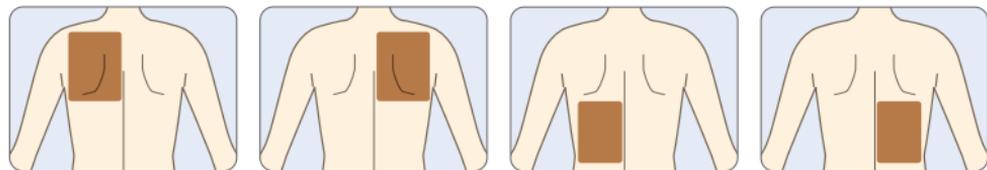


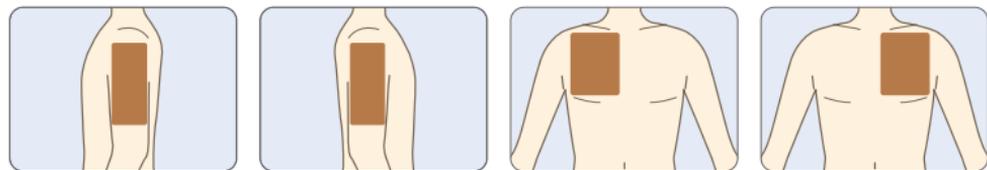
# リバステグミンテープ「ニプロ」を 使用される方と介護者の方へ 皮膚症状を予防するために

- 医師の指示に従って、お使いください。
- 背中、上腕または胸のいずれか1カ所に1日1回1枚、貼ってください。毎日ほぼ同じ時間（24時間ごと）に新しいテープに貼り替えてください。

## 背中



## 上腕と胸



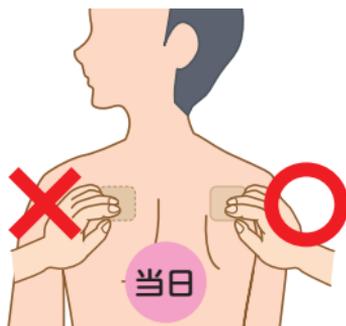
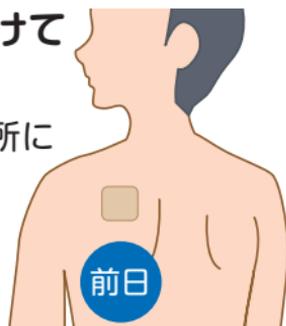
 テープを貼る場所

- テープはハサミで切らずにご使用ください。
- 一度に2枚以上を貼らないでください。
- このおくすりの貼付により皮膚症状（赤くなる、かゆみなど）があらわれることがあります。
- 貼ったとき、テープ表面の透明部分から皮膚の状態（赤みなど）が見えます。貼付中または剥がした後に皮膚症状がみられた場合には、ご自身の判断でおくすりを剥がしたり、中止せずに主治医または薬剤師にご相談ください。

# 皮膚症状を予防するためのポイント

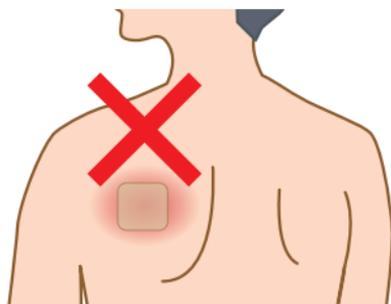
## 1 同じ場所に続けて貼らない

前日とは違う場所に貼ってください。



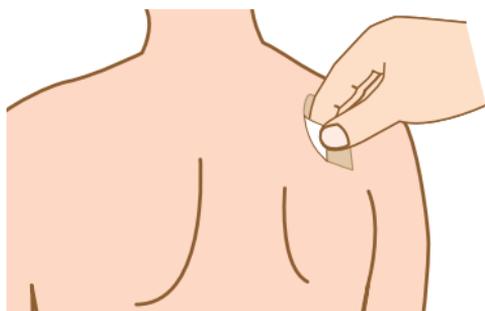
## 2 傷口や赤み、かゆみ、湿疹などがある場所には貼らない

健康な皮膚に貼ってください。



## 3 やさしくゆっくり皮膚からはがす

皮膚を傷つけないようにゆっくりと丁寧にはがしてください。



## 4 皮膚を乾燥から守り、皮膚を正常に保つ

テープを貼る場所について保湿対策を行うなど、毎日のスキンケアが大切です。

# 保湿剤の使い方

- 保湿剤は皮膚の水分を保持し、乾燥による皮膚トラブルの予防に効果的です。
- 保湿剤には、軟膏、クリーム、スプレーなどの剤形があります。
- 保湿剤には、医師の処方箋が必要なものがあります。詳しくは主治医または薬剤師にご相談ください。

## 使用量の目安

### ■軟膏・クリーム(例)

#### <チューブ>

大人の人差し指の先から第1関節までの押し出し量  
(約0.5g)



#### <ボトル>

大人の人差し指の先から第1関節の1/2の長さまですくった量  
(約0.5g)



### ■ローション(例)

1円玉大の量  
(約0.5g)



実物大



大人の手のひら2枚分の面積を塗ることができます。

# 効果的な使い方

- 手を清潔にしてから保湿剤を使いましょう。
- テープを貼る場所（背中、上腕および胸）に毎日しっかり塗りましょう。
- テープがうまく貼れなくなりますので、貼る直前に貼る場所やその周囲には塗らないでください。
- 翌日テープを貼る予定の場所に塗ると効果的です。
- 貼ったテープを避けて塗りましょう。
- 塗る範囲が広い場合は、指先ではなく手のひらでていねいに塗りましょう。
- 塗る時には、皮膚をこすったり、強くすり込んだりせず、やさしく塗り広げてください。
- 入浴直後は皮膚が潤っていますので、からだをふいた後できるだけ早く塗るとより効果的です。
- 入浴しない日は、ぬれタオル、むしタオルなどでからだをやさしくふいた後に塗りましょう。



●気になる症状があらわれた場合には、主治医または薬剤師にご相談ください。